

平成27年度事業計画書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

特定非営利活動法人 飯綱高原よっころしよ

平成27年度は、前年度に引き続き(1)飯綱高原地域内にある遊休農地の再生・活用事業(2)地産地消・食育推進事業 (3)自治組織や企業などとの連携による飯綱山麓の地域振興事業(4)地域福祉の推進に係る高齢者等いきがい生活支援事業 (5)飯綱高原ビジターセンター運営事業を実施した。

(1) 遊休農地再生・活用事業

① 遊休農地での農作物の栽培

遊休農地解消を目的に、よっころしよ農場において、飯綱高原にふさわしい景観の形成するためのソバなど景観作物の栽培や、イベントなどに用いる夏野菜（ジャガイモ、トマトなど）、冬野菜（大根、野沢菜など）の栽培、付加価値の高い「千捻花豆」の栽培に取り組む。また、芋井広瀬集落（中山間地直払事業協定集落）において、山羊の放牧とあわせて、麦や牧草などの栽培を行い、遊休農地の抑制や再生を行う。

② 食農体験イベントーいづな農楽舎の開催

農業体験希望者を地域内外から募集し、日頃は経験できない農作業体験を提供し「食べ物」をつくる楽しみ、喜びを共有してもらうため、年4回のイベントを実施する。イベントを通じて人々の交流・ふれあいの場を提供できた。また、他団体との協働により、「ジビエ」を使ったバーベキューといった独自性の高いプログラムを提供する。

平成27年5月10日（日）

ジャガイモ・花豆の植え付けと山菜ランチ

平成27年7月26日（日）

ソバの種まき・ジャガイモの収穫とジビエバーベキュー

平成27年11月8日（日）

大根の収穫とそば打ち講座

平成26年11月29日（日）

野沢菜の収穫と花豆煮講座

③ 山羊と子どもたちがリーダーの遊休農地ストップ事業

（長野市耕作放棄地対策モデル事業）

昨年度に引き続き、荒廃農地の拡大に歯止めをかけるとともに、観光地として魅力を向上させるため、山羊を飼育し、農地の除草事業に取り組む。また、一般の方とのふれあい体験や山羊乳チーズの商品開発研究を行う。これにより、山羊を通じて、今まで遊休農地の問題に関わりの薄かった層への寄付・ボランティア活動の拡大を一層図る。

・ ヤギ小屋の増設

地域の間伐材等を利用して、小屋を自力で建設する。また、放牧用の柵や堆肥づくりのための堆肥ヤードを設置する。

・ 山羊の除草作業の実証・展示及びレンタル除草事業

よっころしよ農場や芋井地区の遊休農地（広瀬地区）において放牧・繋留により、ヤギによる除草を行い、その効果を実証する。また、農地所有者や他施設

の希望に応じて、山羊のレンタルによる除草サービス事業を本格的に行う。

- ・ ふれあい体験の実施
農場内や市内のイベント会場において、ヤギとのふれあい体験を行い、遊休農地問題への啓発と寄付・ボランティア活動の拡大を図る。
- ・ 山羊乳チーズの商品開発研究
飯綱高原地区の農業振興にもつながる6次産業参入の手始めとして、山羊乳チーズの製造・販売に向けた研究を行う。

(2) 地産地消システム構築・食育推進事業

① 「ながのいのち」ブランド推進協議会への参画

協議会構成員として、市農業公社が主宰する「ながのいのち」ブランドの推進のための活動に取り組む。長野市中央通り商店街の催しにあわせて、焼きとうろしの販売を行う。

平成27年8月12日 お花市（歩行者天国）

② 食育プログラムの開発と実施

女性中心のサークルとして、「五感を使って旬をいただき、安心な食を大切にする心を育てる」をコンセプトとする効果的な食育プログラム（「大豆」をテーマにしたプログラム）を実践する。自分の手で調理・加工体験をしていただくことで、地産地消の考え方の普及や大人を含む食育の推進を図った。

- ・ 大豆栽培：アオダイズ 約10a
- ・ 味家庭でも実践できる味噌づくりの講座を開催し、普及に努める。また、豆腐や納豆などの加工体験も行いたい
- ・ メンバー数 15名

③ 飯綱・戸隠高原「花豆」加工品開発事業

（長野県地域発 元気づくり支援金事業）

花豆の希少性（国内産・顔の見える原材料使用）や機能性（健康志向・安心安全）を活かした農産加工品開発（商品企画、製品試作、試作評価、商品化）を農産加工アドバイザー（和・洋料理長2名）、しあわせ信州食品開発センター担当者のアドバイスのもとで行う。周辺農家、食品加工事業者、会員などプロジェクトメンバーのワークショップにより、消費者目線、地域活性化目線での加工品開発に取り組む。

また、一般消費者への直売や卸売・小売事業者（最終加工品）、農産加工事業者（原料・一次加工品の供給）との商談に向けた試食会を開催するほか、飯綱・戸隠山麓の他の生産者に対してPRを行い、生産拡大・共同加工に向けて連携を図っていく。

④ 芋井地区農家民泊の農業体験メニューへの協力

芋井地区で実施している民泊事業の一環として、修学旅行生に対する農業体験の指導等を行う。

(3) 地域振興事業

① テレビ信州「伝えよう！里山ものがたり」の協働運営

賛助団体会員のテレビ信州が取り組んでいる「伝えよう！里山ものがたり」キャンペーンの一環として、一般視聴者参加の米作り、地元芋井小学校全児童とふるさとの森づくりを行い、一般の方々の目を通した「里山」「田んぼ・畑」の姿を視聴者に伝え、「里山再生」のプロジェクトを多様な主体の参加によって推進する。

ア 親子米づくり大作戦

- ・ 年間9回 10家族：田植え、草取り、稲刈り、脱穀、飯ごうすいさん、里山あそび、餅つき、しめ縄づくりなど
- ・ 芋井広瀬地区 水田（10a）及び笹峯山（6ha）
- ・ 一般の方へのPRとして、「TSB秋の大収穫祭」（11月、南長野運動公園）に参加する。

イ 芋井小学校との「森の教室」プログラム

（緑の募金公募事業）

芋井小学校全校児童に対する森林環境教育を行い、児童の描く「ゆめのもり」に沿って新しい価値を持つ森づくりを進める。さらに他地域への波及効果を狙って、壁新聞など作成し、市内小学校に配布する。

- ・ 年間5回の授業及び学校行事の中で、「観る・遊ぶ」、「学ぶ・育てる」、「創る・食す」をテーマとする森林内での活動を行った。今年度は同小学校の卒業生の強力なサポートにより、ツリーハウスの建設を行う。
- ・ 児童が描く「ふるさと・ゆめのもり」の未来の姿や取り組みの状況、児童が感じたことなどをまとめた壁新聞などを作成し、長野市内小学校、地域などに配布する。他地域への波及効果を狙って、テレビ番組を通じて広く一般の方に活動を知ってもらおう。

② 飯綱高原のブランド・観光PR

飯綱高原の観光交流イベント等に焼きとうもろこしのブースを設け、イベントの盛り上げ、飯綱高原ブランドの宣伝に協力する。

平成27年 8月22日、23日 TSB24時間テレビ38
平成27年 9月 5日 飯綱高原健康マラソン

③ 飯綱高原の自然資源を活かしたイベントの開催

飯綱高原の自然を満喫できるイベントを開催することにより、訪問者相互の交流と地域資源を活かした飯綱高原ブランドづくりと発信を図る。

平成28年2月28日 スノーシューイベント
冬だからこそとごはん〜リッチにスノーシュー
（場所：長野カントリーゴルフコース）

④ 全国植樹祭活動事業

第67回全国植樹祭の開催機運を高め、県全域をステージとした県民主体・県民参加による広域開催の実現を目指すため、長野市芋井地区の森林整備活動及びその木材を利用したクラフト体験を一般県民が多く集まるイベントや場所で行い、植樹祭のPR活動を効果的に実施する。

- ・ 指導員の指導のもと、NPO法人のスタッフ、ボランティアが、スギや雑木の間伐作業を行い、間伐した木材の端材を利用して、「苗木のホームステイ」用のプランターキットを作成する。枝などはクラフト体験用の材料に加工する。
- ・ 森林に親しむ入り口として、除伐、植樹体験・クラフト体験をイベントやスキー場にきた多くの家族・こどもたちに体験してもらい、植樹祭活動への参加を促す。

平成27年5月10日 「全国植樹祭に参加しよう〜春」

平成27年8月22、23日 TSB 24時間テレビ38
平成27年9月13日 「全国植樹祭に参加しよう～秋」
平成27年11月22、23日 TSB 秋の大収穫祭
平成28年2月11日 飯綱高原スキー場

⑤ 移住・交流事業の検討

芋井地区を対象エリアとして、都会の企業と協定を結び、社員福利厚生事業としての農業体験の提供、社会貢献事業としての共同作業への参加、企業の本業と連携する事業に展開をする都市農村交流事業の研究を行った。また、移住者が多い飯綱高原地区の特徴を生かして、移住希望者へのセミナー・相談事業の立ち上げも検討した。来年度以降は芋井・飯綱高原地区の配置予定の地域おこし協力隊や行政等の他団体と密に連携し、具体的事業の検討を進めていく。

(4) 高齢者生きがい生活支援事業

よっこらしよ農場併設のカフェ&サロン「よのや」を拠点に、地域の高齢者を対象にした「いきがづくり」、「居場所・つながりづくり」、「多世代交流」を行った。

- ・ 生きがづくり活動としての各種講座の運営
「みんなが先生、みんなが生徒」をモットーに、高齢者がお互いの知識やスキルを生かした趣味や学習の講座、飯綱高原の地域資源を生かした講座を企画・実施した。(そば打ち講座、ハーブ講座、オカリナサークル(月1回)など)
- ・ 社会貢献活動を兼ねた地域農場の運営
地域の高齢者等とともに「遊休農地再生活用事業」「ヤギプロジェクト」などの社会貢献を実施した。
- ・ 常設型のふれあいいきいきサロン
高齢者等が地域内において気軽につどい交流できる場として、常設型のふれあいいきいきサロンを行った。また地域の民生委員が主催する飯綱高原の「高齢者サロン」の実施に協力した。

(5) 飯綱高原ビジターセンター運営事業

ビジターセンター「オトナリハウス」を飯綱高原観光協会とともに運営、維持管理し、訪問者に対して飯綱高原の魅力を発信した。

飯綱高原観光協会との共同による維持管理
(固定資産税等の固定費負担)

(6) その他の重要事業

ア ボランティア等の受入

ボランティアへの理解促進を目的に行われているサマーチャレンジボランティア、県職員のNPOとの協働に関する研修として、農場での農作業やイベント運営のボランティアの受け入れを積極的に行う。

- ・ サマーチャレンジボランティア(長野市ボランティアセンター)
7月～8月
- ・ 県民協働研修(長野県職員キャリア開発センター)

イ 他団体との協働事業の推進

- ・ ジビエ消費研究会との協働による有害鳥獣駆除、解体・食肉加工、ジビエレシピア研究の実施
- ・ ecology&eco-lives 信州との協働による飯綱高原・芋井地区の生物観察、環境保全活動の実施

ウ 新規会員の確保、既存会員とのコミュニケーション、寄付の拡大

イベントの継続的参加者、ボランティア等から法人活動全体の支援者へのステップアップを図り、継続会員へのマメな情報提供や成果報告などを通じて、共感をいただく中で会員の継続を図っていくよう務める。

また、理事を中心として多くの関係者に対して会員募集や寄付の働きかけに力を入れていくこととする。

- ・ ホームページの充実
- ・ フェイスブック等による若年層へのタイムリーな情報提供
- ・ 法人パンフレットの作成（検討中）